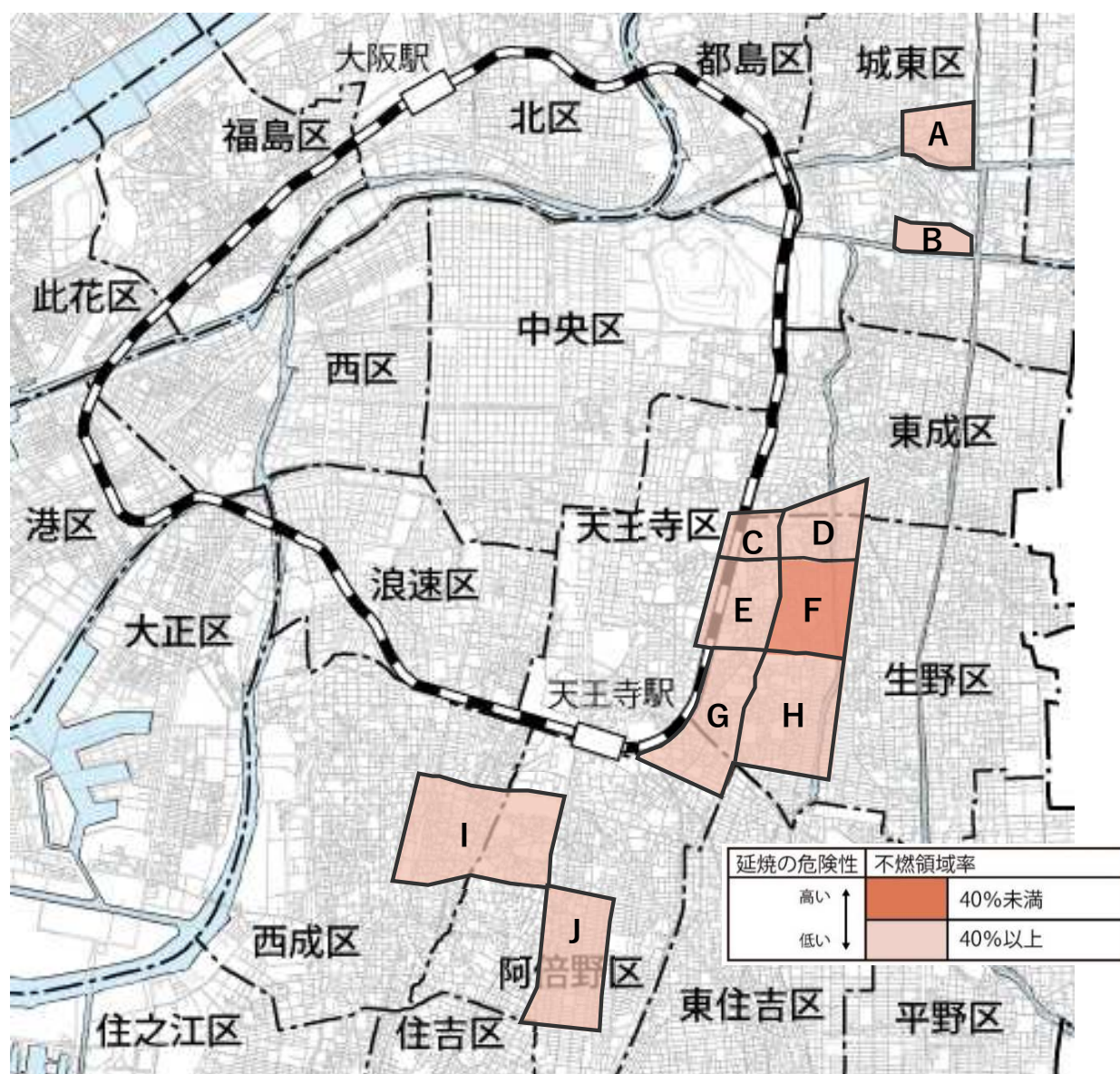


重点対策地区における不燃領域率の状況（令和6年度末時点）

不燃領域率は、市街地大火の危険性を判定するための市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、建物の不燃化や道路、公園などの空地の状況から算定される。40%以上になると、市街地の焼失率は急激に低下し、延焼の危険性は低くなる。



防災街区	街区面積	不燃領域率
A	35ha	41.2%
B	25ha	40.7%
C	24ha	44.5%
D	46ha	43.3%
E	56ha	45.8%

防災街区	街区面積	不燃領域率
F	65ha	31.8%
G	79ha	41.8%
H	96ha	40.7%
I	132ha	46.2%
J	83ha	44.4%

※「大阪市密集住宅市街地整備プログラム（令和3年3月）」の策定時に重点対策地区として設定した10防災街区を範囲として不燃領域率の状況を色分けして示しています。